



建設・不動産業界の課題に挑み Make U Happyの精神で描く未来

【プロフィール】

福岡県生まれ。芝浦工業大学システム工学部を卒業後、大手マンションメーカーに入社。現場監督を経験した後、地方銀行に入学し、2016年に上村建設へ。2019年から現職。

上村建設株式会社 代表取締役社長 上村 英輔氏

福岡の街とともに発展 創業1950年の総合建設企業

マンションや戸建ではもちろん、商業施設、公共施設に至るまで、さまざまな建築工事を手掛ける、福岡市博多区住吉の上村建設(株)。土地活用の提案から、設計・施工、リフォーム、メンテナンス、不動産管理までを、グループで一手に担っています。創業当初から変わらぬ「人の暮らしを考え、誰もが快適に暮らせる住まいを提供する」という想いのもと、福岡の街とともに発展してきました。

上村建設のスタートは、いまから75年前のこと。1950年に現社長の祖父・上村實さんが個人企業として創業したのが始まりです。当時、街は戦後復興の最中で、バラック建設から始まった

のだそう。それから徐々に関門トンネル等の大きな工事にも携わるようになったといいます。その後、1959年に法人化し、元請け受注の仕事を増やして業容を拡大。1983年には不動産管理部門を立ち上げ、建設と不動産両輪を軸としたビジネスモデルを展開。1996年には不動産管理部門を分社化し、現在社員数500名超、売上高400億円を超える企業グループへと成長を遂げました。現代表取締役社長である上村英輔さんは、2019年に就任しました。「創業100周年となる2050年がひとつの節目。100年続く企業を目指して、未来へ挑戦し続ける人づくり・ものづくりに専念したい」と意気込みます。

多くの企業が競い合う建設業界において、上村建設の強みはオーナーとの信頼関係にあるといいます。「建設会

社の仕事は着工から竣工までの1~2年。お引き渡しをした瞬間からその建物は“不動産”という資産になります。当社グループは建設だけではなく不動産の管理も担っているので、お客様とは数十年のお付き合いになります。グループを挙げてお客様に長く寄り添えるという点は、私たちの強みですね」と上村さんは話します。

ピンチをチャンスとして捉え 未来に備える

上村建設にとって成長の契機となったのが、バブル崩壊後、景気低迷期の2001年に発売した企画型賃貸マンションでした。住設トップメーカーなどと共同開発した住宅設備や間取り、仕様の範囲内でカスタマイズできるパッ



1 戦後間もない福岡で、個人企業として創業した上村建設。創業当時は社長を含め社員6名でスタート

3 生産性向上のためにDXを積極的に活用。社内の打ち合わせでは、デジタルパネルを用いて物件のイメージを共有している

2 近年では賃貸マンションだけでなく、オフィスビルや物流施設など新たな建種の領域にもチャレンジしている

4 「Make U Happy」のスローガンのもと、お客様との信頼関係を築き、91%という高い満足度を誇る

ケージ型商品で、これまでに700棟を超える受注実績を誇っています。

こうした好評な商品がある一方で、課題も感じているという上村さん。「これまではローコストで高品質、収益性の高い商品として企画型賃貸マンションが好評でしたが、昨今の建築費の高騰などにより、賃貸マンションの新築の受注数は多くはない」といいます。上村さんは、このピンチをチャンスと捉え、施工能力・技術力を上げる方向へと舵を切りました。「人口の減少に伴い、賃貸マンションの需給バランスも変化していきます。市場が変わっても会社を存続させるためには、今はリターンが少なくともリスクをとってノウハウを蓄え、10年後、20年後の未来に備えることが必要だと思っています。目先の利益だけを追求するのではなく、建設・不動産のプロフェッショナルとして、地域に喜んでもらえるような仕事を積極的に行っていきたい」と話します。

DXやBCP策定を推進し 組織の底力をアップさせる

DXや働き方の見直しが求められる時代。3K(きつい、汚い、危険)と揶揄され

てきた建設業界も、新3K(給与、休暇、希望)という新しいキーワードで魅力的な業界へと変化を始めています。上村建設でも、風通しの良い社内風土を作るとともに、グループ全体でDXを推進し、さらなる成長を目指しています。例えば、情報の一元化。様々な情報が属人化しないようデータベース化を進め、情報を組織全体で共有しています。「お客様やお取引先の情報は、会社にとっての大切な財産です。デジタルへの投資で、社員が持つ情報を可視化して会社全体で共有することは、より良いサービスの提供に必要不可欠です」。

さらに、上村さんは組織の強化にも力を入れています。「社長の役目は、次の世代にバトンを渡すこと。社長が会社に来なくても仕事が回る組織を作ることが重要だと思っています。例えば、非常時に社員がどのように行動すればよいのかインプットしておくことも重要です」。そこで、組織と社員のリスク対応力強化のため、福岡商工会議所の支援のもと、自然災害等の緊急時に備えた簡易版BCP(事業継続計画)といわれる「事業継続力強化計画」を作成。部署横断のプロジェクトチームを作り、グループ企業等も参画する「連携型」

の計画策定や、正式なBCPの策定を目指しています。

そんな上村建設グループが大切にしているのは、「Make U Happy」の精神。お客様、社員、そして福岡の街で暮らす全ての人の幸せのために会社が存在するというスローガンだといいます。「幸せを育むためには、社員個人の力だけではなく、組織の結束力が欠かせません。今後も組織力を高めるための取り組みを続けていきたいです。また、私たちの仕事は、もはや単なる建設会社、不動産会社ではありません。大切な資産を守り育てる人生を共に歩むパートナーとして、お客様に寄り添っていきたい」。お客様も社員も幸せにする上村建設の進化はこれからも続きます。

取材日：10月20日

Make U Happy UEMURAGROUP
上村建設

上村建設株式会社

〒812-0018 福岡市博多区住吉
4丁目3番2号 博多エイトビル
TEL:092-475-6551
<https://www.e-uemura.jp/>

